

第5学年 国語科学習指導案

2020年11月18日(水) 第5校時

5年1組 児童数27名

指導者 和田 萌花

- 1 単元名 「椋鳩十さんになりきって、『大造じいさんとがん』のアフターストーリーを書こう」
教材名 「大造じいさんとがん」

2 単元について

○児童観

本学級の児童は、「だいじょうぶ、だいじょうぶ」や、「世界でいちばんやかましい音」などの教材の学習を通して、人物の行動や会話をてがかりに人物の気持ちを考えたり、場面の展開とともに変化する人物の気持ちを読み取ったりすることを学習している。

昨年度実施した標準学力調査の結果から、「叙述を基にして、登場人物の気持ちを捉える」「場面の移り変わりと結びつけて登場人物の気持ちを具体的に想像する」内容において、弱さが見られた。叙述を根拠にした、登場人物の気持ちの読み取りや、気持ちの変化、場面の細かい描写を読み取ることに課題があると考えられる。

○単元観

本単元における重点指導事項は、学習指導要領における「思考力、判断力、表現力等」の「C読むこと」(1)エ「人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」である。

本教材は、猟師である大造じいさんとがんの群れを率いる一羽のがん、「残雪」との戦いの様子が、美しい情景描写とともに描かれている作品である。計略失敗に悔しい思いをしながらも、残雪の賢さに感心し、さらには仲間を守ろうとする姿や頭領らしい姿を見て、大造じいさんの心情は変化していく。それぞれの場面の心情を、行動や会話、情景描写などから想像しながら読み取ることができ、中心人物の人物像を考えさせることのできる教材である。

そこで、本単元では、「椋鳩十さんになりきって、『大造じいさんとがん』のアフターストーリーを書こう」をゴールとした。大造じいさんが再び残雪と会ったとき、どんな作戦で残雪と関わるのかを考えて、文章に表現する活動を設定する。そのためには、叙述を根拠にした、登場人物の心情の読み取る力や、気持ちの変化、描写をとらえる力を身につけさせなければならない。

○指導観

第一次では、単元のゴールイメージや学習の見通しを持たせるために、教師が作成した、注文の多い料理店のアフターストーリーを紹介する。グッドモデルとバッドモデルを紹介することで、登場人物の性格や心情をおさえた上での作成の大切さに気付かせる。

第二次ではアフターストーリーを書くために、教材文を読んで物語の構成や登場人物の相互関係の変化を読み取らせる。まず、計略ごとに、複数の叙述を結び付けて読み取った人物像を人物図に追加させていく。そして、残雪に対する思いの変化や大造じいさんの人物像を情景描写にも着目しながら複数の叙述をもとに、総合して考えさせる。また、作品の全体像を捉えて読めるようにするために、全文掲示や全文シートを活用していく。単元初めから並行読書として椋さんの他の作品を扱い、優れた表現や椋さんの動物への愛情などの作品の魅力についても考えさせたい。

第三次では、第二次で学習したことをもとに、教科書に描かれていない、大造じいさんと残雪のその後の物語を考えさせる。大造じいさんは、次の年、残雪をうつか、うたないかや、その理由を今までの学びを根拠に考えさせたい。そして、それぞれが作成したアフターストーリーを交流することで、互いの作品の違いを明らかにしたり、良さを認め合ったりして、自分の考えを広げていきたい。

3 単元の目標

- ・ 語句の量を増やし、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。
〔知識及び技能〕 (1)オ
- ・ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ
- ・ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりできる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)エ
- ・ 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いやる考えを伝え合おうとする態度を養う。
〔学びに向かう力、人間性等〕

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①思考に関わる語句の量を増やし、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。【(1)オ】	①「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。【C(1)イ】 ②「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。【C(1)エ】	①これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に人物像を想像し、その後の話を考え、表現しようとしている。

5 単元の系統性 【C 読むこと エ 精査・解釈（文学的な文章）】

学年	1	2	3	4	5	6	中1
教材名	スイミー	お手紙	モチモチの木	ごんぎつね	大造じいさんとがん	海のいのち	ウ（前半省略） 場面と描写など
めあて	おはなしのすきなところを見つける	自分とくらくらべて読む	人物のせいかくを想像する	人物どうしの関わりを考える。	人物像を想像する。	物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考える。	を結び付けたりして、内容を解釈すること
指導事項	エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。		エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。		エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。		エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること

6 効果的な学校図書館の活用

- ・ 椋鳩十作の本を並行読書として扱う。
- ・ 国語辞典を常備し、日常から使う習慣をつける。

本単元で扱う図書館資料

- 「マヤの一生」「椋鳩十のクマ物語」「片耳の大シカ」など

7 指導と評価の計画（全9時間 本時 / 9）

次	時		○学習活動	見方・考え方を働かせている姿	学習活動における評価規準と評価方法
一	1		○単元の学習の見通しを立てる。 ・「注文の多い料理店」の続き話（グッドモデルとバッドモデル）を聞く。 ・「大造じいさんとがん」の初発の感想を書く。	・ Bの続き話の方が2人の紳士像に合っていると思うな。 ・ 大造じいさんは、続き話では、残雪を翌年、うつのかなあ？うたないのかなあ？	
読書タイム		椋鳩十の作品を読み、椋鳩十ワールドのみりよくを考える	○教師の読み聞かせ「片耳の大シカ」を聞く。	・ 椋さんの作品の動物はかっこいいな。人間の心が動かされるのは同じだね。	
二	2		○物語の設定を確かめる。 ・ 中心人物を確認する。 ・ 大造じいさんの心情の変化が描かれていることに気付く。	・ 中心人物は大造じいさんかなあ。 ・ 大造じいさんの、残雪に対する心情の変化が大きいなあ。（どうしてそんなに心情が変化したのかなあ。）	[知識・技能①] ・ 場面の様子や登場人物の言動、様子などを表す語句について着目し、語彙を豊かにしている。
	3		○大造じいさんの心情を捉える。 ・ うなぎばり作戦 ・ たにし作戦	・ 「ううん。」は「ううむ。」より、悔しさが込められていると思うよ。（中心人物の心情の変化、場面の移り変わり、中心人物の対人物への見方の変化等）	【発言・ノート】 [思考・判断・表現①] ・ 大造じいさんの残雪に対する心情の変化について想像している。
	4		○大造じいさんの残雪に対する思いの変化について考える。 ・ なぜ、残雪に対する思いが変化したのかを考える。	・ 大造じいさんは残雪の仲間を思う姿をみて仕留めるのをやめたんだろうな。 ・ ただの鳥ではなく、○○な鳥に思えたんだと思うよ。（勇気ある, 勇敢, 仲間思い） ・ ぼくの読んでいる「片耳の	【発言・ノート】

三	5	椋鳩十の作品を読み、 椋鳩十ワールドのみりよくを考える		大シカ」でも人間のシカに対する思いが変わったよ。	
			○作品全体を読んで、大造じいさんの人物像を想像する。 ・「ひきょうなやり方」をキーワードに大造じいさんの人物像を考える。	・これまでにやった3つの作戦はひきょうだったのかなあ。 ・ひきょうではないやり方ってどんな方法なのかな。	
			○効果的な、情景描写についてとらえる。 ・情景描写が大造じいさんの心情を表していることを気付く。	・「東の空が真っ赤に燃えて」の文章は大造じいさんの強い気持ちが伝わってくるなあ。 ・私の読んでいる「カワウソの海」でも「インクのように夜が…」という、カワウソの思いを表した情景描写があったよ。	
	7		○椋さんの世界観をとらえる。 ・それぞれの児童が読んだ椋作品について、話し合う。	・どの作品にも動物に関係した話が多いなあ。 ・椋さんの作品って動物たちの姿を通した、人の生き方へのメッセージも込められているんじゃないかな。	[主体的に取り組む態度] ・学習の見通しを持って、積極的に自分が読んだ本から椋さんの世界観を見つけている。 【ノート】
	8		○今まで読み取ったことを生かして、アフターストーリーを考え、文章に表す。	・大造じいさんは、残雪の堂々とした態度に感動したからきっと残雪をうたないと思うよ。 ・二人の清々しい友情が伝わる情景描写を入れよう。	[思考・判断・表現②] ・大造じいさんの人物像をとらえ、既習内容と結び付けながらアフターストーリーが書けている。 【ワークシート】
	9		○アフターストーリーを交流し、学習を通して学んだことを振り返る。 ・友達と良さや気づきを交流する。	・なるほど、A君は椋さんの「動物を大切に思う心」という世界観からこんな話にしたんだね。 ・Bさんは私の考え方と似ているな。	

単元末の子どもの姿

- ・人物像を想像するためには、複数の根拠となる文章を結び付けて読むことが大切なんだなあ。
- ・情景描写で、人物の心情を読み取ることもできるんだなあ。
- ・椋さんの他の作品を、もっと読んでみたいなあ。